

# 国際政治

193

## 歴史のなかの平和的国際機構

日本国際政治学会編

序章 平和的国際機構と歴史研究	篠原 初枝
ロバート・セシル卿の国際平和機構観	秦野 貴光
戦間期の列国議会同盟と日本	伊東 かおり
ヘルス・ガバナンスの胎動と国際連盟保健機関	山越 裕太
知的協力から国際文化交流へ	齋川 貴嗣
「強制的連盟」と「協議的連盟」の狭間で	帯谷 俊輔
国際機構に請願する権利	小阪 裕城
国際システムの構築における トランスナショナルネットワークの役割	詫摩 佳代
アルジェリア戦争と赤十字国際委員会 (ICRC)	藤井 篤
紛争の証言者としての人権NGOの出現	五十嵐 元道
アフリカの集団安全保障における地域機構の役割、発展と特徴	山口 正大

---

### <書評>

中谷直司著 『強いアメリカと弱いアメリカの狭間で』	菅原 健志
今井宏平著 『中東秩序をめぐる現代トルコ外交』	中村 覚

2018年9月刊